

としょかん つうしん 12月号



長い間愛され、今もなお読まれ続けている絵本から、ねこが登場するものをご紹介します。3冊とも、日本の児童文学を牽引してきた石井桃子さんが携わっています。

年少くらいから



『ちいさなねこ』

石井桃子/さく 横内襄/え 福音館書店

好奇心旺盛なちいさなねこが、一人で外に出て行ってしまいました。外はあぶないことでいっぱいです。読んでいくうちに思わず、がんばれ！と応援してしまいます。ちいさなねこが愛くるしくてかわいく、昔も今も変わらないものを教えてくれる絵本です

年中くらいから



『100まんびきのねこ』

ワンダ・ガアグ/ぶん・え いしいももこ/やく 福音館書店

二人暮らしのおじいさんとおばあさんが、寂しいのでねこを飼うことにしました。おじいさんは、ねこを探しに行きますが、百匹、千匹、百万匹とたくさんのねこと出会います。どのねこを飼おうか、きめられないおじいさんは……。モノクロの絵本ですが、ねこでいっぱいの谷や丘は圧巻です。

年長くらいから



『こねこのぴっち』

ハンス・フィッシャー/文・絵 石井桃子/訳 岩波書店

幼いぴっちは、自分とは違うものにあこがれます。ほかの動物のまねっこをしているうちに、恐ろしい思いをしたぴっちは病気になってしまいます。ぴっちの不安を周囲の人や動物たちが温かく包み込んでいくうちに、ぴっちはやっぱりねこがいいと思うのでした。図書館には文字が横書きの改版本もあり、倍の大きさです。大勢で読むならこちらもどうぞ。

※対象年齢は目安です。

取手市立図書館の
ホームページでも
公開中！

<https://www.toride-toshokan.jp/toshow/html/ehon.html>



取手市立図書館

- ・取手図書館 tel 74-8361
- ・ふじしろ図書館 tel 70-8181
- ・戸頭公民館図書室 tel 78-3090